

4.今後の活動について

近年、奨学期間終了後、ロータリー離れ現象が目立つ。修了後、少しでも活動に興味を持ってもらえるために、
①奨学期間中、良い思い出を作っておける。ロータリアン交えての交流会や学友、奨学生同士のイベント企画
②学友として活動・活躍してもらえる人材の発掘。自分と現役奨学生との歳の差が最大 20 歳もあるため中間層の学友の養成が急務。
③米山部門以外、地区の他部門へのサポート&お手伝い
④既存、奉仕活動の継承 / 新学友会長&新副会長をサポート。
米山記念奨学事業に「寄付して本当によかった！」と思っていただくために、一人でも多くの奨学生が 2770 地区で採用してもらえるために活動します。

さらなるチャレンジへ

- ・約 10 年後には、ロータリアンになってカウンセラーになる
- ・インターアクト委員、米山部門委員になる

米山奨学金支給

■米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香より授与

卒業式

小沢 孝 会長より、クラブからの卒業証書が授与されました。また、記念品も贈呈されました。



■2022 学年度米山記念奨学生
グエンティガンさん ご挨拶



卒業証書をいただき、ありがとうございました。米山記念奨学生になってよかったことをお話しします。

1.日本文化の体験

いろいろな経験をさせていただきました。

書道…最初は全然きれいな字を書けませんでした、風香さんの御指導のおかげで少しずつ上達しました。

茶道…川鍋（洋子）先生に、お作法から勉強させていただきました。

薪能…観られましたが内容はわかりませんでした。

2.日本の旅行

奨学生になっていろいろな方と一緒にきました…

・宮古島…リーダーシップを学ぶ研修をし、友だちもできました。海がキレイでした。

・北海道…いろいろな景色を見られました。

日本の北から南まで旅行、夢がかないました！

3.日本の家族

米山記念奨学生がロータリアンだとは知らなかったです。毎週月曜、例会にくると皆さん笑顔で温かく迎えてくれました。皆さんに声を掛けていただけてうれしかったです。皆さんとお食事するととても楽しかったです。

カウンセラー 島村まり子会員

2年間ずっと一緒に過ごしていただきました。どんどん距離が縮まって話せるようになりました。



カウンセラー 島村まり子会員より
ガンさんに花束贈呈



ガンさんより島村会員に花束贈呈

島村会員着用のアオザイは、ガンさんのお母さんから贈られたもの